

# 栃木県における総合評価方式の取り組みについて

栃木県県土整備部技術管理課

## 1. はじめに

近年、栃木県では不当な低価格価格による受注が多発する傾向にあり、公共工事の品質の低下や下請等へのしわ寄せ、安全対策の不徹底等が懸念され、これらに対処するために入札契約制度等の改善等、各種対策を講じてきたところです。このような中、平成17年4月に「公共工事の品質確保の促進に関する法律」が施行されたことを受け、さらなる公正性・競争性・透明性の高い公共調達や品質の確保、さらには不良不適格業者の参入防止を図るため、価格と品質で総合的に優れた者を落札者とする「総合評価方式」を導入したところです。

## 2. 総合評価方式のタイプ

- (1) 総合評価方式については、一般的な多くの工事に適用される可能性が高い「簡易型」を導入しています。
- (2) 評価方法は、理解しやすい「加算方式」を採用、「総合評価点の満点は100点」としています。

評価点の配点は、10点タイプと20点タイプの2タイプとしています。

総合評価点 = 価格点 + 価格以外の評価点  
 $100 = 90\text{or}80 + 10\text{or}20$

平成17年度は10点タイプ、平成18年度は技術的難度の高い工事は20点タイプ、それ以外は10点タイプとしました。

なお、平成19年度からは、技術評価を重要視する観点から、20点タイプを標準としています。

## 3. 平成18年度総合評価方式の実施結果

### (1) 実施件数

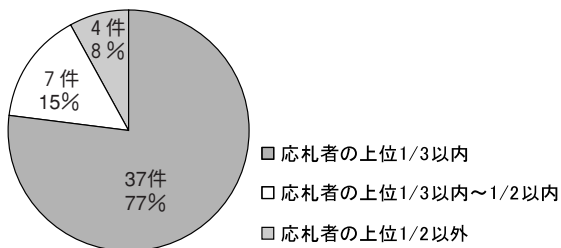
部局	工種	実施 件数	指名方法の区分		価格以外の評価点		価格差逆転	
			公募型	通常(指名)型	10点	20点	10点	20点
土木部	土木一式	27	15	12	19	8	2	1
	建築一式	2	2		1	1	1	1
	PC構造物	5	4	1	3	2	3	1
	鋼構造物	2	2		1	1	1	
	土木部計	36	23	13	24	12	7	3
農務部	土木一式	5	3	2	5			
林務部	土木一式	7		7	7			
合計	土木一式	39	18	21	31	8	2	1
	建築一式	2	2		1	1	1	1
	PC構造物	5	4	1	3	2	3	1
	鋼構造物	2	2		1	1	1	
	計	48	26	22	36	12	7	3

## (2) 落札者の順位

工種別	工事数	価格点が1位以外 (価格差逆転)		価格以外の 評価点が1位	
		件数	割合	件数	割合
全体	48件	10件	20.8%	23件	47.9%
土木一式	39件	3件	7.7%	16件	41.0%
建築一式	2件	2件	100.0%	1件	50.0%
PC構造物	5件	4件	80.0%	4件	80.0%
鋼構造物	2件	1件	50.0%	2件	100.0%

- 価格点が1位以外（価格差逆転）の落札は約2割。
- 価格以外の評価点が1位の落札は約5割。

## (3) 落札者の価格以外の評価点の順位（位置）



- ほとんどの工事において、応札者の中で価格以外の評価点の上位者が落札。

## (4) 結果

ほとんどの工事において、価格以外の評価点（技術点）の高い者が低い価格で応札している状況にあることから、今後、価格以外の評価点のあり方や採用方式についての検討が必要と思われます。

## 4 総合評価方式の試行拡大について

## (1) 平成19年度の取り組み

本県では平成19年6月から、5千万円以上の工事について一般競争入札を導入したところです。これらの工事のうち、土木一式・建築一式・PC構造物・鋼構造物に加え舗装工事の5工種について、可能な限り総合評価方式に取り組むこととしています。

- 簡易型 発注金額の60%以上、件数の30%以上  
うち、1億円以上は全ての工事を対象
- 標準型 1～2件試行導入

## (2) 今後の取り組み

平成20年度以降は、簡易型、標準型とも順次拡大することとしています。また、技術的な工夫の余地が小さく、かつ規模の小さな工事においては、特別簡易型の導入も検討することとしています。